

シリーズ

遺伝子組み換え食品とは？

帶刀益夫（東北大学名誉教授）

第5回 作物は「人間依存症」の植物

作物はダーウィンの

「自然選択」説の典型例

俺のことかとゲーテいい」という川柳があります、明治時代の日本語の表記がゲーテ(Goete)の本来の発音と違うことをおもしろく表現したもので、我々が知っている「イネ」を原種(野生種)の「イネ」が見たら同じこと

知りませんし、見たこともないでしょ。

「ギヨエテとは

いさやウマの「家畜」やイ

ヌ、ネコなどは、「domestic animal」と総称します。

「Domestic」は「家庭の」とい

う意味で「人間と親しい、身内

どのような植物であったかを

の「植物や動物という考え方

を反映しています。

野生植物の栽培化は、人間

が自分の食糧として好適な野

生植物種を選別して交配を重

ねて好適な作物種として新た

な種を作り出す操作過程で

す。一万年もかけて現在の作

物種まで品種改良をしてきた

結果、野生種とはかなり違

るものになってしまっています。それゆえ、ダーウィン

は、「種の起源」で、この

「品種改良」という「人為的

な選択過程」が「自然による

作物種は「人間依存症」の植物

人類は、自由に、また計画的に栽培できるという人間のニーズを満たすために、野生の植物種を変更し、新しい形の植物を作りだすための「遺伝子操作」を行つてきたのです。

現在ある多くの栽培できる

作物種は、先祖となる植物種

を人間に完全に依存するよう

に変更してしまったので、た

とえば、トウモロコシのよう

に遺伝形質が非常に大きく変

更されてしまい、もうメキシ

コの原野の野生種のテオシン

トが繁殖できるような条件で

は、繁殖する能力を失つてしまっています。

さらに、もともとは実ると

すぐに種子が飛散してしまつ

ていたものが、人が収穫しや

すいように、種子がいつまで

も残るようになっています。

とくに、作物種では、一本

の植物あたりの種子や果実の

数は、先祖の植物より少なく

なっていますが、そのサイズ

は大きくなっています。その

ほかにも、種子の休眠がなく

なっている、苦味物質が減少

している、光周期感受性の変

つっています。

その一方で、作物のイネや

さらに、もともとは実ると

すぐに種子が飛散してしまつ

ていたものが、人が収穫しや

すいように、種子がいつまで

も残るようになっています。

とくに、作物種では、一本

の植物あたりの種子や果実の

数は、先祖の植物より少なく

なっていますが、そのサイズ

は大きくなっています。その

ほかにも、種子の休眠がなく

なっている、苦味物質が減少

している、光周期感受性の変

つっています。

その一方で、作物のイネや

さらに、もともとは実ると

すぐに種子が飛散してしまつ

ていたものが、人が収穫しや

すいように、種子がいつまで

も残るようになっています。

種子の飛散や保護が抑えられ

てしまい、野生には戻れない

能力と、作物が堅固であるた

めに、頂芽優勢(植物の茎の

に見てより強くなつていま

す。またより確実に成長する

植物としての生命力は全体的

に弱くするようにしたため、

種子の飛散や保護が抑えられ

てしまい、野生には戻れない

化、開花が同調して起きるなどのさまざまな生理学的变化も、作物種の特徴です。

作物種の先祖と比べて、種子作物や果実作物は、より大きい種の粒や、より大きいサ

イズの果実をもつようになります。また作物種では、種が飛散

しにくくなり、種を開む種皮

を弱くするようにしたため、

種になつてしまつています。

このように、栽培化では、

先祖種の莫大な遺伝的多様性

が抑制される現象で、葉っぱなどの周囲と比べて、中央の

幹の茎が力強く成長している

こと)が増強されるようにな

っています。

その一方で、作物のイネや

さらに、もともとは実ると

すぐに種子が飛散してしまつ

ていたものが、人が収穫しや

すいように、種子がいつまで

も残るようになっています。

とくに、作物種では、一本

の植物あたりの種子や果実の

数は、先祖の植物より少なく

なっていますが、そのサイズ

は大きくなっています。その

ほかにも、種子の休眠がなく

なっている、苦味物質が減少

している、光周期感受性の変

つっています。

その一方で、作物のイネや

さらに、もともとは実ると

すぐに種子が飛散してしまつ

ていたものが、人が収穫しや

すいように、種子がいつまで

も残るようになっています。

とくに、作物種では、一本

の植物あたりの種子や果実の

数は、先祖の植物より少なく

なっていますが、そのサイズ

は大きくなっています。その

ほかにも、種子の休眠がなく

なっている、苦味物質が減少

している、光周期感受性の変

つっています。

その一方で、作物のイネや

さらに、もともとは実ると

すぐに種子が飛散してしまつ

ていたものが、人が収穫しや

すいように、種子がいつまで

も残るようになっています。

種子の飛散や保護が抑えられ

てしまい、野生には戻れない

能力と、作物が堅固であるた

めに、頂芽優勢(植物の茎の

に見てより強くなつていま

す。またより確実に成長する

植物としての生命力は全体的

日本共産党 池田ファンクラブ・ニュース あした天気にな～れ



168号

2015年10月

部内資料

発行責任者 太田 勅 (62-5727)
議員連絡先 うすい孝彦 (62-5093)
編集責任者 服部 久子 (62-4357)
山本 久子 (61-1066)

TPP交渉、大筋合意

政府は公約を守らず
アメリカの言うがままに

米アトランタで行われてい
たTPP交渉は、日程を再延
長して開いた閣僚会合で、大
筋合意を確認しました。

日本は、米についてアメ
リカ7万トン、オーストラリ
アに8400トンの無関税輸
入枠を認め、畜産品、果物、
水産物の関税引き下げ、廃止
など大幅に譲歩を繰り返し、
重要品の「聖域は守る」とし
た公約、国会決議を投げ捨て
ました。

安倍政権は、主人米国とと
もに新しい経済圏を作ること

内容は国会・国民に
一切明らかにされない

この交渉は、アメリカの要
求で秘密交渉が義務づけら
れ、国会や国民に一切明らか
にされず、民主主義に真っ向
から反するものです。

日本は交渉では、アメリカ
をはじめ国民の反対世論が更
に強まり、批准は容易でない
と思われます。

国内、国際の運動で連携し
て、TPPを阻止しましょ

农作物はダーウィンの
「自然選択」説の典型例
と総称されます。

選択」の概念をもつとも的確にあらわしているものとして、「選択」(あるいは淘汰)の章の最初に挙げています。

作物種の先祖と比べて、種子作物や果実作物は、より大きい種の粒や、より大きいサ

イズの果実をもつようになります。また作物種では、種が飛散

しにくくなり、種を開む種皮

を弱くするようにしたため、種子の飛散や保護が抑えられ

てしまい、野生には戻れない

能力と、作物が堅固であるため、頂芽優勢(植物の茎の

に見てより強くなつていま

す。またより確実に成長する

植物としての生命力は全体的

に弱くするようにしたため、種子の飛散や保護が抑えられ

てしまい、野生には戻れない

能力と、作物が堅固であるため、頂芽優勢(植物の茎の

に見てより